



# 希望のぞみを届けます



田中のぞみ★市政News

| Vol.103 2017年11月議会 |

11月議会 田中のぞみ議員の質問から

## 障害児拠点圏のあり方の根本的な見直しを

**Q 田中** 市内に障害児拠点圏は11圏(市立9圏、私立2圏)で40年前から変わっていない。3歳児からの定員が10名で、在園児でも障害があると分かった場合は新規入園扱いになり点数競争が発生している。そのため、両親の就業状況の点数が低ければ、退園しなければならない状況にある。障害児保育のニーズが高まり一般保育園でも多くの障害児を受け入れている現状を踏まえ、障害児拠点圏のあり方について根本的に見直すべきではないか。

**A 局長** 障害児拠点圏は、保育士が障害児保育のスキルを高め、他の園に広める役割を担ってきた。一般園で受け入れられる体制づくりが大切。拠点圏の数について増やす方向性はないが必要な見直しは行いたい。

障害児保育

退園  
現状の改善を  
しなければならぬ

## 障害児保育補助金の抜本的な引き上げが必要

**Q 田中** 私立の認可保育園では市の補助金額が障害児1人に3.7万円と低すぎて、障害児が5人～6人いないと保育士を加配できない。入園を断られたり、退園を勧められるケースが散見する。一方で国は、障害児2人に対し保育士1人分を地方交付税で措置している。実際に、小規模保育事業については、障害児1人に約14万円が公定価格に含まれている事を考えても、岡山市の障害児保育補助金を抜本的に引き上げる必要があるのではないか。

**A 局長** 障害児保育補助金の最低金額は、10年以上変わっていない。適切な障害児保育ができるよう取り組みたい。

## 岡山市の障害児保育がこのままでいいと思うか

**Q 田中** 障害者差別解消法ができた下でも、保育現場では障害児排除につながっている。岡山市の障害児保育はこのままでいいのか。

**A 市長** 保育環境について十分とは言えない。障害児保育についても、地方交付税で措置されていることは初めて知ったので、次のステップが必要かどうか検討していきたい。

## 市政報告会

- 1月20日⊕ 15時～ 御津ふれあいプラザ
- 21日⊕ 10時～ 岡輝公民館
- 25日⊕ 18時～ 百花プラザ
- 2月10日⊕ 10時～ 岡南公民館  
13時半～ 富山公民館



質問する田中議員

田中のぞみ連絡先

住所：〒700-0931 岡山市北区奥田西町 11-19  
メール：nozomitanaka@theia.ocn.ne.jp

田中のぞみ

検索

